

## あとがき

さきに『長島は語る 岡山県ハンセン病関係資料集・前編』を刊行し、ここに『長島は語る 岡山県ハンセン病関係資料集・後編』を発刊することができました。

平成十四年度から調査活動を開始し、当初は「資料編」と「通史編」の二冊を刊行する予定でありましたが、予想以上に資料が豊富であったこと、さらに国の「ハンセン病問題に関する検証会議」の最終報告書に文書資料があまり含まれていないこともあって、未公開の文書資料を中心に、資料集二部を刊行することになりました。

ハンセン病問題に関する膨大な資料がさまざまな所に保存されていますが、編集の対象とした調査箇所は次のとおりでありました。

愛生園事務局、愛生園図書室、神谷書庫、愛生編集部、愛生園入所者自治会、長島愛生園歴史館、光明園事務局、光明園福祉課カルテ室、楓編集委員会、岡山市立中央図書館、岡山県庁、岡山県立記録資料館、瀬戸内市（旧邑久町役場、旧牛窓町役場、旧裳掛村役場）、瀬戸内市立裳掛小学校、瀬戸内市立邑久中学校、岡山県立邑久高等学校、和歌山県庁、岡山県内市町村役場、中尾伸治氏資料、池内謙次郎氏資料、三宅克広氏資料

編集作業は、まず、資料所在箇所における膨大な資料の中から、収集すべき簿冊を選び、簿冊から必要箇所を選定し、コピーまたはデジタルカメラによる撮影を行いました。なお、コピーまたは撮影する資料は全てカードに概要を記して、後の選定の資料としました。

愛生園、光明園、両園自治会での作業は、調査専門員と「岡山県ハンセン病問題関連史料調査委員会」の中尾伸治・木谷昌弘両委員が一体となり、度々土曜・日曜を活用した宿泊で作業を進め、その際の

話し合いが作業進行の大いなる活力となりました。

こうした資料の収集・編集を進めていく過程で、調査専門員の念頭から離れなかったのは、「ハンセン病問題が私たちに問いかけているものは何か」ということであり、とくに、隔離政策による明白な人権侵害がなぜ百年近く続いたのかということでありました。

いま、「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」が制定され、国、地方公共団体の責務が明らかになり、ハンセン病療養所の将来構想も展望される段階に至りました。私たちはこの資料集が、研究と教育・啓発に活用され、ハンセン病問題の正しい理解が進められることを願っています。

最後に、資料を保存してこられた関係機関・各位と、他の都道府県に先駆けて調査委員会の要望に沿って事業を進め発刊された県当局に対し、深甚の敬意を表するものであります。

平成二十一年三月

岡山県ハンセン病問題対策協議会会長

岡山県ハンセン病問題関連史料調査委員会委員長

南 智

## 主な参考文献一覧

- 『隔絶の里程―長島愛生園入園者五十年史―』 長島愛生園入園者自治会 一九八二
- 『曙の潮風―長島愛生園入園者自治会史』 長島愛生園入園者自治会 一九九八
- 『愛生』 長島愛生園慰安会
- 『邑久長島大橋架橋運動の経過』 長島架橋促進入園者委員会・長島愛生園入園者自治会 一九九〇
- 『風と海のなか―邑久光明園入園者八十年の歩み―』 邑久光明園入園者自治会 一九八九
- 『楓』 邑久光明園慰安会
- 『創立八十周年記念誌』 国立療養所邑久光明園 一九八九
- 『ハンセン病問題に関する検証会議 最終報告書』 財団法人日弁連法務研究財団ハンセン病問題に関する検証会議 二〇〇五
- 『邑久町史』 史料編・通史編 邑久町史編纂委員会 二〇〇七
- 『ハンセン病と戦後民主主義』 藤野豊 二〇〇六
- 『俱会一処』 多磨全生園患者自治会編
- 『増補 日本らい史』 山本俊一 一九九七
- 『近現代日本ハンセン病問題資料集成』 既刊三十三巻 藤野豊 二〇〇二
- 『証言・ハンセン病』 森幹郎 二〇〇一
- 『島が動いた 隔絶六十年の体験から「小島の春」はいま!』 加賀田一 二〇〇〇
- 『全患協運動史―ハンセン氏病患者のたたかいの記録』 全国ハンセン氏病患者協議会 一九七七
- 『復権への日月―ハンセン病患者の闘いの記録』 全国ハンセン病療養所入所者協議会 二〇〇一

『新良田』閉校記念誌 岡山県立邑久高等学校新良田教室閉校記念事業実行委員会 一九八七

『ハンセン病文学全集』既刊十巻 大岡信・大谷藤郎・加賀乙彦・鶴見俊輔 二〇〇二

『検証会議―ハンセン病と闘った人達に贈る書』全国ハンセン病療養所入所者協議会 二〇〇五

『らい予防法廃止の歴史』大谷藤郎 二〇〇一

『「いのち」の近代史』藤野豊 二〇〇一

以上は、本資料集を編集するうえで特に参考とした文献である。

これ以外にも、各療養所の機関誌・記念誌・自治会史などハンセン病問題の文献は数多く発行されている。たとえば、岡山県立図書館で「ハンセン病関係資料目録」も作成されている。これらを活用していただきたい。

関係者一覧（敬称略・順不同・平成二十一年三月）

【岡山県ハンセン病問題関連史料調査委員会】

委員長

南 智

長島愛生園入所者自治会

中尾伸治

邑久光明園入所者自治会

木谷昌弘

岡山弁護士会

則武 透

岡山県立記録資料館館長

在間宣久

総務学事課長

吉松裕子

健康対策課長

則安俊昭

【ハンセン病問題関連史料調査専門員】

南 智（元ノートルダム清心女子大学教授）

在間宣久（岡山県立記録資料館館長）

山下 洋（邑久町史編集委員）

木下 浩（岡山市立第一藤田小学校教諭）

西尾睦己（岡山県立岡山御津高等学校教諭）

村上 岳（瀬戸内市教育委員会）

松岡弘之（大阪市史料調査会）

吉田シヅカ（平成一七年三月まで）

【ご協力をいただいた方々】（順不同）

岡山市立中央図書館・長島愛生園・長島愛生園入所者自治会・神谷書庫・愛生編集部・池内謙次郎・  
邑久光明園・邑久光明園入所者自治会・楓編集委員会・瀬戸内市・山陽新聞社・三宅克広・朝日新聞  
社・内池昭子・山陽映画株式会社・岡山県立記録資料館・邑久町史編纂委員会・和歌山県・故西栄一・  
鳥取県史編さん室・石井則久・望月拓郎・産経新聞社・岡山県立邑久高等学校・小池章郎・石部克巳・  
毎日新聞社・岡山県立津山東高等学校・関西学院大学・山陽女子高等学校・横山やよい

【事務局】（史料調査委員会発足以降）

保健福祉部健康対策課

課長

二宮忠矢

平成一四年六月～一九年三月

徳山雅之

平成一九年四月～二〇年三月

則安俊昭

平成二〇年四月～

課長代理

徳山雅之

平成一四年六月～一六年三月

服部憲夫

平成一四年六月～一六年三月

感染症対策係

係長

柴田義朗

平成一四年六月～一五年三月

感染症対策係

係長

有田裕

平成一五年四月～一七年三月

感染症対策班

総括副参事

山下祥嗣

平成一七年四月～二〇年三月

総括主幹

奥勝彦

平成二〇年四月～

主査

妹尾安裕

平成一四年六月～一六年三月

主任

日覚紀子

平成一六年四月～一八年三月

長門祥子

平成一八年四月～

囑託員

丹正貴和美

平成一五年四月～一六年一月

難波慶子

平成一六年四月～一八年三月

柏崎里佳

平成一八年四月～

『長島は語る 岡山県ハンセン病関係資料集・後編』

平成二十一年三月六日 発行

編纂 岡山県ハンセン病問題関連史料調査委員会

ハンセン病問題関連史料調査専門員

発行 岡山県

印刷 株式会社セイキ